

刊夕 日八廿月三



定額 一部金五銭... 発行所 常磐毎日新聞社

追善法要の由来と心得 (七)

眞 繼 雲 山

斯くして我が家の祖先のみならず、一切有情、先亡のため、進んでは諸佛賢聖のために大遠志を修し大供養を設くることは、これを覺道の莊嚴と申し、苟くも信に生くる佛教家として最も大切の勤行であります。

ました。それも一つは身分によることであり、士は三ヶ月、大夫は五ヶ月、諸侯は七ヶ月に、痛哭し卒るとしたのが卒くこの禮であります。その卒くく、傲ふて百ヶ日を追善としたもので、三ヶ月とすれば九十日目を至當とするも、四十九日を倍すれば、百ヶ日に近く、乃ち大教をとりて定めたものであります。

その間が餘り懸けはなれてざるべきでないといふ人間、自然の情が年回の法要となつて表はれてゐるものであり、四十九日約倍にして百ヶ日あり、百ヶ日を約三倍にして一周きを迎へるといふことになつてゐる、それが禮記の小祥、大祥と符節を合してゐるのてあります。そこで一周きから七周きを飛びましては、節に間隔があり過ぎますゆゑ、一周きを三倍にして三周きを定めたのであります。名に三周きであり、滅後足かけ三年ではありますけれども、實は一周きの翌年が三周きになるので、そこで禮記の廿五ヶ月と丁度一致するわけであり、

【問】御尊教、篤と合點いたしました。就きましては白ヶ日以後の法要は如何なる根據に基くのでありますか。

【答】百ヶ日より三周忌までは儒説により、三周忌以後は佛説の意を採つたのであります。先づ百ヶ日の由来を申し上げませう。禮記には「卒哭」といふことが書いてあります。卒哭とは、「なき卒る」であります。父母、死すれば凡そ子たるものは香に喪に服するばかりでは足りぬ、更にその遺思を追慕して痛哭しなければならぬことでもあります。かし物は程度問題で餘りに泣いてばかりゐて、それがため家業がおろそかになるやうでは却つて追孝の道に外れることになり、そこで痛哭すべき期間を定め

【問】十三ヶ月を一周忌といふのは分りますが、何ういふ譯で廿五ヶ月を三周きといふのですか、廿五ヶ月なら二周きのやうに思はれますか。

【答】單に地藏本願經の七の字にのみ據るとすれば四十九日目から七周きにまで飛ばねばならぬ道理ですが、追善法要とは本來追慕の情を表はして近きより遠きに及ぶのでありますから、

旭屋一六銀行

御利用を盛んに御取扱中
四百二十五番の電話次第
御便宜直様御取運び致します

耳鼻咽喉専門

平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

新學期の裁縫用具と通學手提カバン

澤山入荷致しました
平町田町
御各學校 御用達
ハンシモトヤ糸店
電話一四番

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します
親切に料金は極めて低廉で
御病入の付添 留守 居番
炊事や 雑用 年寄やお子さんの付添

派出多忙に付會員至急募集

上原家政婦會
平町紺屋町二(電話呼六五二)
會主 産婆 上原通子

露披御車新

三四年型デラックスセダンが
入荷致しました
貸切の御用命の節は
電話六八五番へ...
是非御試乗の程を願ひます

三井タクシー

電話六八五番

集募徒生

文部大臣 藤田女學校
認可
願書受附 三月末日限り
詳細 本校宛問合せの事
福島縣平町田町
電話三二八番

磐城共濟病院

小兒科	産科	婦人科	皮膚科	耳鼻喉科	物理療法科	藥劑科	衛生試驗所
院長 石山謙郎	部長 五十嵐雄二	部長 有馬勇二郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎
部長 石山謙郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎	部長 石山謙郎

外科

専門線光X
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

鐵橋に災される

出水の驚嘆的被害

既往五ヶ年間に廿一萬圓

平町から調査結果を申告

沿岸農民の苦慮の結晶を一夜にして葬り去る夏井川は、繼續中の匡救工事による大改修によつてその被害が今後大いに緩和される事になるが、夏井川鐵橋上流は洪水の際に濁流が

鐵橋に より堰止められるため依然として被害大であり是れを解決せずには水害より救出さるゝに至らないので平町始め平窪、小川の各町村では昨年十二月鐵道省に對し同鐵橋を延長して上流地の禍根を一掃された旨

陳情しその後引續き目的貫徹の爲運動を繼續してゐたが鐵道省でも地元民の要望の聲に動かされ先づ鐵橋に依つて悪水が堰められる被害の實際調査を平町に命じて來たので平町では同鐵橋

上流の 平窪、小川の各村と協力して調査中であつたが昨日完成直ちに報告したが右調査に依る最近五ヶ年間の被害總額は二十一萬七千六百四十六圓といふ巨額に達してゐる各年別被害左の如く

昭和三年 二、〇反 三、二〇圓
△流失田畑面積 損害高

四年	四八、五	四九、二五五
五年	一〇四、〇	二、六九六
六年	五、五	一〇、五〇〇
七年	四、五	一、四、七六一
△浸水家屋戸數	損害高	
昭和三年	七五戸	二、〇〇〇圓
四年	一六二	五、五五〇
五年	三	一、二〇〇
六年	七〇	三、五〇〇
七年	二六〇	一、二、七〇〇
△其他		
(三年) 五五圓(四年) 三、五五圓(五年) 二、〇〇圓(六年) 一、五〇圓(七年) 三、四〇圓		

公園花時の

賣店申込み

其後續々殺到

割當ては抽籤で決定

松ヶ岡公園櫻花時の臨時賣店敷地借地願出は既記の如く締切日まで僅かに二件に過ぎず申込期間を延期するより外はないかと危まれてゐたがこの事本紙によつて報導されるや俄然一時に願出殺到し定數十三に對し十五件の願出あり二件の超過となつたため三十日午後二時から土木委員立會の下に抽籤を執行割當てを決定することになつた

眞道の

一二號現る

更らに飛躍

本月一日創刊第一号を刊行

貧血馬匹

健診で發見

石城郡産馬畜産組合では過般來今井技手により管内の馬匹健康診断を行つた結果左記の如く眞症一頭、疑似四頭の傳染性貧血馬を發見

した
▲眞症 水戸村大字浮矢阿部國顯所有三歳牝馬
▲疑似 三坂村中三坂吾妻富治所有十八歳牝馬
同大竹治右衛門所有十六歳牝馬、上遠野根岸幸崎庄次郎所有〇歳牝馬、同深山田山野山所有三歳牝馬

第一戦を

水戸中に挑む

磐中野球部本格的練習

試験休暇に入つた磐中野球部では昨年輝やかした成績を残して去つた先輩士名の功績を汚すことなく愈々最後の榮冠を目指して一意邁進することになり

根本教諭榮轉 磐中音楽科嘱託平鍛冶町根本邦雄氏は此程北海道廳立網走高等女學校教諭に任せられ本日單身赴任の途についた

既報の如く早大多田捕手をコーチに招聘して練習を開始したが部員二十名陽春の候をよそに汗み泥になつてベース、ランニング、トス、バッティング、フリー、パッシングと基本練習に餘念ないが本日基本練習も了つたので左記の如くライン・アップを編成して本格的猛練習に入り

高校合格通知 水戸高校を受験した磐中卒木田繁、佐川正の両君に對し十七日合格の通知あつた、又同じく下山田佐久彌、渡邊敏男の両君は松本高校の入學試験に合格した

名投手 鳥津選手を招いて投手の養成に努めることになつたが同野球部は本年度の記録すべき第一戦を關東中學界の雄水戸中學は挑むことに決定した

小濱船溜陳情 植田町渡邊助役外村議四名は二十六日出福同町小濱港船溜工事の九年度繼續施行方を土木課に陳情した

水道委員協議 平町では二十九日午後一時から町役場會議室に於て水道委

白水道路竣工 工費一萬七千五百圓を以て過般來工事中であつた内郷村白水地内の道路河川の改修工事は去る二十六日竣功を告げたので本日小林土木監督所長出張して竣功検査を行つた

市原醫院

平町 田町
電話一四番

江戶前料理

鳥金ぶら 大和漬
は軽くしてうま味もよく滋養に富む
ぜひ一度御試食下さい

錦水

出前 迅速
電話四五番



靈効散 (無効返)

胃腸病薬の王座を占むる純漢法薬
松前 家傳
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製薬したので兎角の批評がありました。使用しなくては其の眞價が判りませぬから皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも、日間は飲まれますから胃腸病に苦しむ方、輕病、心臓、痔疾の方は是非御試食下さい。クサにならず根治致します。兒小用の靈効散も出來ました。

定價
試服用 八日分 五十錢
重症用 四十五日分 四十五圓
腦症用 廿日分 壹圓

販賣部 地方代理店 阿康藥舖
平町古鍛冶町縣社ノ下
電話四四番

耳鼻喉科専門

大和田醫院

平町南町一六
電話一七〇番

危い代物

自宅に隠す

發覺檢舉さる

好間村大字北好間字権現堂 隅田川炭礦社宅四十八號採 炭夫河村力藏(三)は去る十 三日頃採炭に使用した残り のダイナマイト三本鑛業用 雷管三個導火線三米突を盗 み自宅に隠匿して置いたこ と發覺二十七日平署に檢舉 された

各學校の

生徒募金

函館罹災者へ

平町警中、警女、平商の各 中等校及び第一、第二、第 三各小學校では過般の函館 大火災に義捐金を送る事になつたが金額は一人當り小 學生が一錢中學生が三錢で 尙市内各私立學校も各々募 出の目論見があると

忠魂祭打合

明日平町で

平町では明日二十九日午後三 時から來月十日の招魂祭式

殊勝な心がけに

魔がさして

嫁入り費用の 稼ぎも水泡

草野村字吳坪一高羽ハル (三九)は本年一月嫁入り仕度 の費用稼ぎにも同村の匡 救事業に雇われ眞黒になつて 働いて居たのはよかつたが そのうちに出入する土木請 負業沖田作由(三九)と云ふ妻 子四人もある男と懇ろにな り喋り合せて同月十七日同 村を出奔夫婦取りで各地 を經巡り旅費もだん／＼心 細くなつたので去る廿四日

長宅に評議員會を開き役員 改選の結果、れも再選重任 と決定した

平教育會

本日總會開始

既報平町教育會の總會は本 日午前十時より第一小學校 講堂で開かれ會計報告及び 役員選舉を行つた結果會長 は青沼町長當選副會長には 第一小學校の篠山校長が當 選し終つて午後一時より福

柳下氏寄贈の

化石名稱判明

德永博士が鑑定

既報平町紺屋町柳下元吉氏 が本社の手を通じて第一小 學校に寄贈した古代魚類の 化石は其の後山口警女教諭 が名稱を明かにすべく折柄 來郡中の帝大教授德永博士 に鑑定を請ふたところ同化 石の名稱はレイコブテイラ と稱する旨鑑定を下された 尙德永博士は先日警女に於 て開かれた講演會の席上右 化石を示して詳細なる説明 を試み滿堂の聴衆を驚嘆さ せた由

生徒の赤誠

満洲に届く

平第二小學校尋常科五年生 一同は過般慰問袋三十三個 を作製滿洲奉天軍に送付方 を町役場に依頼したので役 場では直に陸軍恤兵部に採 納方を上申したが二十四日 付で許可の指令があつた

郷軍分會

役員再選

在郷軍人平町分會では昨日 午後六時から田町藤田分團

明日のラジオ

廿九日

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間
お話アイヌの熊補り 矢
川惠三郎

後六、三〇 三都對局新進
勝拔將棋大手合

島市大圓寺住職鈴木秀應師
の講演があつた

天候

今晩も明日も北 西の風晴曇半す

後七、三〇 講演
後八、〇〇 未定
後九、三〇 時報 ニュ
ス 氣象通報 番組豫告

明日の部

後九、一〇 料理献立 村
井多嘉子

前九、五〇 第十一回全國
選拔中等學校野球會試
合實況(甲子園より中継)

前〇、三〇 家庭講座
「春のお化粧をどう致し
ませう」早見君子

後〇、〇五 尺八合奏 安
藤銀山外大勢

後二、〇〇 家庭大學講座
「病人と食物」(終)醫學博
士佐々藤平

後六、〇〇 (子供の時間)
唱歌 若手警男子師範學
校附屬小學校兒童

後六、三〇 三都對局新進
勝拔將棋大手合

後七、三〇 講演「高血脈
に伴ふ諸症に就て」東北
帝大教授醫學博士加藤豊
治郎

後八、〇〇 落語「茶釜の
喧嘩」林家大藏

後八、二〇 富本「月柳廓
髮梳」富本豊美都外大勢

後八、四〇 ラジオ風景
「みんなの青空」放送文藝
懸賞當選作品

看護婦急派

の求めに應

平看護婦會

平町南町 電話三〇七番

學校卒業賞品特賣

各學年卒業修業期が近づきました。 各種賞品類も全部荷揃致しました御仕入の絶 好期、卸賣特に御務め勉強致します

共榮漆器店

平町三丁目北裏通り 本年尋卒 仕着 小使月二圓 同高小卒 仕着 小使月二圓 外交員十八九才より三十才迄

旭硝子株式會社製品

板ガラス

製造 販賣 硝子 壺 硝子 食器 其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電話五九七番)

裁判所たより

△昨報茨城郡那珂郡那珂町字 明神町五五〇生れ當時住 所不定台田光雄(三〇)に係る 殺人未遂傷害事件は此程平 裁判所の陪審裁判に附され たが被告は昨日陪審裁判の 辭退を申出たので近く平區 裁判所に於いて公判を開く

平職界紹介所報告

△人を求める方
△女中 二十才前後 尋卒 給料面談
△料理人 尋卒 給料面談
△出前持 十八才一二十三 才位 尋卒 月十圓位

ラヂオ診査

仙臺放 送局で

來月の豫定 送局で は來月六日、七日の兩日平 町大工町東部電力營業所に 巡回相談所を設け加入者に 對し無料診査する

警女の入學式

本年度新入學生の入學式は 四月六日午後一時よりまた 在校生徒の始業式は四日午 前八時より行ふと



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第九十一回 徳川家に崇る村正

廣いやうで狭い世

惣兵衛と由松で五年振りの對面、二人の喜びは申上げるまでもありません
惣「由松、宜く無事であつたな」

由「お父さん長い間お通りもしないで不孝を致しました御無事なお姿を見てこんな嬉しいことはございませぬ」

惣「どうして私が此處にゐることが解つた」

由「新綱の大家さんに聞きました」

惣「そうか、それで分つたマア立ち話しても出来ない色々話すこともあり聞きたいこともあるから此方へお上り」

由「有難うございます」

側で女中呆氣にとられて見て居ります

惣「おせきさん、これは私の伴です、由松やこの姐さんには種々お世話になつたのだから、お前からよくお禮を言つてくれ」

由「始めましてお目にかゝります、私は惣兵衛の伴、由松と言ふものでございませぬ親父が色々お世話になりましたらうで有難う存じます」



由「お父さん主家さんから一通りお話しは伺つて参りましたが、あなたは大層お病ひなすつたそうぞ」

惣「ア、私はもうお前に遭はず死ぬ事と諦めてゐたが此方の旦那様のお情けで、不自由なく斯うして暮らせ

なさい」

由「ハイ、これは旦那様でございますか、親父が大變御厄介様になりましたらうで何ともお禮の申上げやうもございませぬ」

新「ハイ、私が信濃屋新藏、どういたしましてお世

話と言ふ程のこと出来ません、とにかくよく来てくれました、時に今女中の知らせてお目にかゝらうと思つて来るとあなたの方のお話立ち聞きをしたといつては申譯がないが一通り耳に入りました、何か仇討といふやうな事」

せ「いゝえどういたしまして、惣兵衛さんにはこんな立派な伴さんがあつたのでございませぬか、さあお上りなさいまし」

由松會釋をして上る

惣「サアこれは私の部屋だから遠慮しなくても宜い」

新「それでは旦那様、只今申上げ様と思つて居りました、これか私の伴でございませぬ、由松やこのお方が御當家の旦那様、大恩あるお方だからよくお禮を言ひ

とこれまでの事を詳しく述べますと信濃屋新藏大層感心をして

新「さういふ譯なら私もこれから中根様のお屋敷へ行つて殿様にお目に掛りお禮を申上げて私からもよくお願ひをして置こう、惣兵衛やお前も勿論行かなければならないからみつともなくないやうに支度をしな」

惣「有難う存じます、何ともお禮の申上げやうもございませぬ」

飽く迄親切な信濃屋新藏が惣兵衛由松の親子と共に芝の濱松町から小石川小日向水道町の中根の屋敷へ参りました、源太郎が由松から始終の話を聞いて共に惣兵衛の無事を喜び、且つ新藏の親切に感じましたが一通りの挨拶が済むと源太郎

源「さて信濃屋、俺はお前の屋敷を聞いてふと思ひ出したが、信州の小諸に信濃屋新兵衛といふ者があつたお前知つてゐなさるか」

言はれて新藏ハツと驚いた體で

新車御披露

三十四年式「デラツクス、セダン」入車致しました。貸切の御用の節は是非御試乗を御願ひ致します。

新型セダン揃ました

電話六四〇番

尼子タクシ

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

内科一般

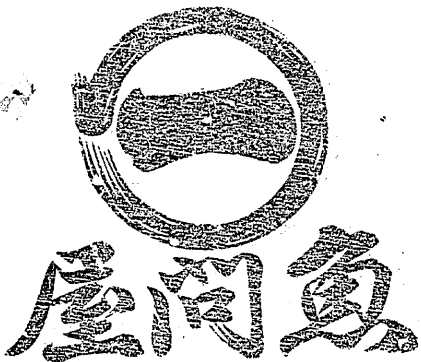
醫學博士 難波陸

平町大町新川端 電話五〇二

木村外科醫院

平町五丁目橋際 電話九〇三番

ほしやなぎ
いかの鹽から
鱈魚の子



店理代平命生本日本大最優最
榮盛賀志
(三一電)目丁四平